

推薦

ゲリット・ヤン・
ヴァント・ヴィーン



Metropolis — Humankind's Greatest Invention

●Ben Wilson:著 ●Anchor

著者のベン・ウィルソン氏は、建物、道路、壁といった要素ではなく、文化、宗教、欲望、革新といった要素を通して、現在進行中のメトロポリスの発展を説明し、非常に成功した作品です。彼の考えでは、都市は新しい文化の出発点であり、人間がそこで実際に何をしていたのか、あるいはしているのかを研究することによって、最もよく理解することができます。もし都市開発に貢献したいと思うなら、この折衷的で非常に独創的な本は間違いなく読む価値があります。

Life Between Buildings

●Jan Gehl:著 ●Island Press; Sixth Edition, Sixth Edition, Sixth

人々に愛される街づくりを目指すすべての人に贈る、デンマークの名著。「人は心地よく感じるものであるべきだ」という大きな理念のもとに書かれた小さな本。とても理にかなっていると思うのですが、それでも私たちは、遠くから見ると息をのむような美しさなのに、実際にそこにいると寒くて不快な通りや広場、地域をたくさん作ってしまうのです。

Banksy: you are an acceptable level of threat and if you were not you would know about it

●Patrick Potter:著 ●Carpet Bombing Culture; 9th edition

バンクシーの作品について、非常に完成度の高い本です。バンクシーがバンクであり、今もバンクであることから、このリストに入れました。賞賛に値します。彼が都市のコンテキストを作品にする方法は、質を高めようとする人の手本となるものです。決して独り立ちしているわけではありません。常に相互作用し、反映される。都市のサステナビリティに取り組むときにも、同じことができますし、そうすべきです。

How to Turn a Place Around

●Kathy Madden:著 ●Project for Public Spaces, Inc

ヤン・ゲールと同様に、これは古典的なものです。実用的でありながら、何年経っても挑戦的であるから好きだ。なぜなら、シンプルに「Put the People First」と書かれているからです。ここは彼らの通り、彼らの公園、彼らの広場です。彼らに話しかける。彼らから学べ、彼らがやっていることを研究する。とてもシンプルなことなのに、そうでないことが多いのです。

Startup Communities — Building an Entrepreneurial Ecosystem in Your City

●Brad Feld:著 ●Wiley; 2nd edition

ブラッド・フェルド氏は、世界中に数多く存在するような中規模なイノベーション・エコシステムの仕組みを、非常にわかりやすく端的に説明しています。というか、世界中にあるはず。この本を読み、自分の役割を決め、そして実行に移しましょう。革新的な起業家のために、活気あるコミュニティを作り上げよう!